

令和3年度 事業報告書

江別市社会福祉協議会(以下「当協議会」)では、令和2年度に策定した地域福祉実践計画(以下「計画」)に基づき、「暮らしの安心を支える地域福祉」を目指して運営し事業を進めています。

計画の2年目を迎えた令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化に伴い、当協議会においても一部事業の縮小や中止を余儀なくされ、各種会議においては感染防止に配慮しながら必要により実施し、書面による開催に切り替わったものも多くありました。一方で生活維持のために必要な給食サービスや除雪関連サービスについては、継続して適切に実施しました。

地域活動支援においては、コロナ禍で人が集まることが困難な状況により「地域交流の集い活動」の実施方法を変更した際の特例助成金を新設し、コロナ禍に対応する活動支援を実施しました。

また、生活課題に対応した総合的な相談支援では、コロナ禍の経済的な困窮による資金ニーズの増加とともにくらしサポートセンターえべつへの相談件数も大幅に増加しました。このような中、生活福祉資金特例貸付や住居確保給付金といった制度活用等、関係機関と連携しながら課題解決に向けた支援に取り組みました。

以下、具体的な事業の実施結果について報告します。

目 次

基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援	1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	6
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	8
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成	11
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供	12
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり	15
★	会務の運営、基本計画以外の主な活動	22

基本計画 1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

市民が福祉サービスを利用しやすくするための情報提供と生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

(1) 広報活動による福祉情報の提供

① 社協だより「幸せな社会」の発行

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行(発行1回につき約42,000部)し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、ホームページ掲載、公共施設への配置及び関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、表紙など一部カラー印刷や写真を活用し、市民にわかりやすい誌面づくりに努めるとともに、拡大版を作成し公共施設などへの設置やボランティアセンター登録団体の点字ろくの会の協力を得て、誌面を点字化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

② ホームページの運営

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新に努めました。また、ホームページ上から総合社会福祉センターの貸室予約ができる機能を追加しました。

③ 社協事業活動の説明

- ▷ 社協事業の説明を行いました。
 - ・7月14日(水) 北海道医療大学 福祉キャリアフェスタ(オンライン)
 - ・7月17日(土) 江別市家庭問題研究会
 - ・9月(オンデマンド) 札幌学院大学 地域福祉論
 - ・11月24日(水) 北翔大学 就業力特別講習
- ▷ 地区民生委員児童委員協議会へ歳末見舞金品贈呈事業の説明を行いました。
 - ・10月13日(水) 野幌南地区
 - ・10月14日(木) 江別南地区、江別北地区
 - ・10月15日(金) 野幌北地区
- ▷ 「2021年度版社協要覧」を作成し、福祉団体・施設などへ配布し、PRに努めました。

(2) 福祉サービスの適正化、苦情対応

当協議会が提供する福祉サービスに寄せられる苦情・意見などについて、電話での対応のほか現地へ出向くなど適切な対応に努めました。

【具体例】・雪の処理情報誌掲載事業所の対応について(改善の要望)

(3) 生活課題に対応した総合的な相談支援

① 生活困窮者自立支援事業の実施(市受託事業)

くらしサポートセンターえべつ(以下「くらしサポ」)では、対象者像に合わせた就労支援と役割を創出する活動の充実に注力するとともに、関係機関への事業説明や、ブログでの情報発信も含め、

事業周知活動にも努めました。

【相談支援実績】 新規相談件数 609件 支援延べ回数 4,199回

プラン作成件数 103件

【支援調整会議】 市所管課(管理課)担当職員、市保護課職員、就労準備支援事業所しごとサポートセンターコクリ(以下「コクリ」)職員、くらサポ相談支援員により、自立に向けたプランの確認や、事業の進め方、相談内容の対応などについて協議しました。／開催回数 48回

【江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議】 生活困窮状態にある相談者が抱える多様で複合的な問題について、関係機関等が連携し情報共有を行うとともに、支援に必要な分野横断的なネットワークを構築するために初年度から継続開催をしていました。今年度は北海道ひきこもり成年相談センターに講演の依頼を行い、準備を進めていましたがコロナウイルス感染拡大の影響を考慮して開催を中止し、参加予定機関に会議資料の送付を行い、情報共有をもって開催に代えさせていただきました。

【就労支援】 コクリやハローワークなど就労支援機関との連携はもとより、ハローワークでの求職が困難な方々(背景に病気・障がい・社会経験の乏しさなど)への支援の充実に向けて取り組みました。

▷ 就労体験先等の開拓に向けて 企業など訪問数 1カ所

▷ 無料職業紹介事業: 求人登録数 1件 求職登録者数 0人 就労決定者数 0人

▷ 江別市版中間的就労事業の実施: 雇用契約を伴わない就労の形として、市内企業2社と協定を結びプログラム化。／延べ参加人数 74名 作業料 52,240円

* 中間的就労: 一般企業などですぐに働くことが難しい方を対象に、訓練として支援付きの就労の場(軽作業など)を提供する事業。事業者との雇用契約は無いものの、参加者に一定の作業料を支払う。

【事業周知・説明】 ブログや社協だより「幸せな社会」、市広報誌での情報発信などの周知活動を実施しました。また、福祉団体などに対し事業説明を行いました。／説明カ所数 3カ所

【居場所「シエスタ」の開催】 NPO法人レターポストフレンド相談ネットワークと協働し、ひきこもり当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所づくりを模索しました。また、市内各領域の支援機関へ参画を要請することにより、多機関協働で開催することができました。／開催回数 4回 延べ参加人数 117名

【ゲーム交流会の開催】 居場所シエスタ全日程終了後、引き続き参加者が気軽に利用できる居場所・交流の場として開催しました。／開催回数 2回 延べ参加人数 10名

【家計支援実績】 家計に関する助言や、滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など、相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援しました。／実介入件数: 新規47件 延べ270件 プラン作成件数 12件

【住居確保給付金】 離職や休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれが生じている方々への家賃相当額支給の相談窓口業務を行いました。

▷ 実相談件数 111件 延相談件数 166件 支給決定件数 27件

② 権利擁護の体制整備と相談支援

ア) 日常生活自立支援事業の実施(道社協受託事業)

北海道社会福祉協議会(以下「道社協」)から受託して行っている当事業を円滑に実施するため指揮監督者、自立生活支援専門員及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】 23件(新規3件・前年度比増減なし)

【生活支援員登録者数】 27人(新規1人・前年度比4人減)

イ) 成年後見実施機関の運営及び法人後見事業の実施(市受託事業など)

江別市成年後見支援センターでは、成年後見制度の相談支援及び広報用パンフレットの作成や地域向け講演会開催などにより制度普及・利用促進に努めるとともに、市民後見人候補者の資質向上を図るためフォローアップ研修、市民後見人個人受任者の活動支援を行いました。

また、当協議会では成年被後見人等の権利を擁護するために法人後見業務を実施しました。

【相談支援実績など】 新規相談件数 146件 延べ相談件数 914件

延べ相談支援回数 860回 申立支援件数 21件 後見開始審判の市長申立要請 6件
受任調整会議 8回

【法人後見】 年度末受任 20件(令和3年度受任 6件)

【市民後見人個人受任】 年度末受任 4件(市民後見人個人受任 令和3年度受任 2件)

【市民後見人フォローアップ研修】

- ▷ 第1回／令和3年6月23日(水)／「目的を遂行するためのコミュニケーションの取り方」 講師:五十嵐教行(北海道総合福祉研究センター理事長) 参加者34人
- ▷ 第2回／令和3年12月23日(木)／「市民後見活動と意思決定支援」 講師:佐々木佐織(東京大学専門職員)、「中核機関設立に向けて」 講師:東 啓二(東京大学特任専門職員) 参加者30人

【普及啓発】

- ▷ 社協だより「幸せな社会」やホームページでの情報発信
- ▷ 出前講座の実施／自立支援協議会(相談支援部会)、野幌東町自治会、大麻第一住区自治連合会
- ▷ 地域向け講演会の開催／令和3年11月21日(日)江別市民会館 「認知症になった波平さん」 講師:渡辺哲雄(作家) 参加者138人

【関係機関との会議等】 後見実施機関運営会議(12回)、江別市成年後見実施機関運営協議会(5回)

【登録管理】

- ▷ 市民後見人及び後見支援員の登録意向確認を実施
- ▷ 年度末登録者 市民後見人候補者 40人 後見支援員 39人

③ 生活安定のための貸付金を活用した相談支援

生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸し付けを円滑に実施するため生活資金相談員を配置し、業務の推進に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業などで生活費を必要とする世帯への緊急小口資金・総合支援資金の各特例貸付の相談・申請窓口となるとともに、相談者の状況により他制度の必要情報を提供しました。

【相談者件数】

区 分	3年度	2年度	増 減
生活福祉資金	延 146 件	延 503 件	△延 357 件
福祉金庫	延 59 件	延 100 件	△延 41 件
電 話	延 1,251 件	延 2,116 件	△延 865 件
計	延 1,456 件	延 2,719 件	△延 1,263 件

ア) 生活福祉資金の貸付(道社協受託事業)

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】 ※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区 分	3年度	2年度	増 減
教育支援資金	4 件 5,582,000 円	6 件 11,498,000 円	△2 件 △5,916,000 円
緊急小口資金	423 件 80,350,000 円	843 件 158,029,000 円	△420 件 △77,679,000 円
総合支援資金	776 件 424,848,000 円	685 件 342,581,000 円	91 件 82,267,000 円
計	1,203 件 510,780,000 円	1,534 件 512,108,000 円	△331 件 △1,328,000 円

イ) 特別生活資金の貸付(道社協受託事業)

道社協の「特別生活資金(冬期生活資金)貸付事業」の取り扱い窓口業務を実施しました。

【貸付実績】

区 分	3年度	2年度	増 減
貸付件数	1 件	0 件	△1 件
貸付金額	50,000 円	0 円	50,000 円

ウ) 福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に4万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	3年度	2年度	増 減
貸付件数	49 件	76 件	△27 件
貸付金額	1,940,000 円	2,810,000 円	△870,000,円

④ ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

【協力団体】 江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会

【相談件数】 51件(前年度比13件減)

⑤ 生活支援体制整備事業の実施(市受託事業)

生活支援や介護予防の充実を図るため、各種研修会及び住民主体で行うサロンへの参加を通じ、事業推進に必要な情報収集に努めるとともに、地域住民・団体が「支え合いのまちづくり」を進めていく上での助言や、第2層生活支援コーディネーター(地域包括支援センター)との協働、関係機関などとのネットワークづくりに努めました。

また、コロナ禍での活動を模索している通いの場に向けて、他の通いの場での取り組みや三密を避けて楽しめるレクリエーション等について情報提供を行いました。

その他、通いの場情報誌の発行、訪問だよりの発行、社協広報誌にてサロンなど開催状況の掲載(シリーズ化)を通じ、市内における活動例の周知に注力しました。

【会議への参加】 第1層・2層生活支援コーディネーター会議など 38回

【研修会等への参加】 事業展開に関する情報交換研修への出席など 13回

【関係機関との情報交換・情報収集・情報提供活動】 江別市の各部署、その他関連団体との情報交換など 112回

【地域活動への参加】 地域サロン、サークル等の通いの場見学・参加など 48回

【第2層生活支援コーディネーターへの支援】 活動調整、同行など 7回

【その他】 通いの場情報誌更新版の発刊、通いの場訪問だよりの発行、広報活動(情報誌、訪問だよりに配布含む)、個人・団体や事業所からの問合せ対応(通いの場参加希望者への情報提供、連絡調整等) など

基本計画 2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に参加できるよう支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区分	登録状況		増減
	3年度末	2年度末	
団体	57団体 1,368人	61団体 1,453人	△4団体 85人
個人	133人	186人	△53人
計	1,501人	1,639人	△138人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設や障がい児者施設などでの行事、在宅高齢者への支援及び相談活動などに協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活動区分	延活動人数		増減
	3年度	2年度	
高齢者施設	88人	26人	62人
障がい者施設・団体	26人	26人	0人
認知症高齢者	3人	0人	3人
託児	217人	35人	182人
在宅高齢者・障がい者支援	250人	112人	138人
相談	118人	135人	△17人
その他	115人	199人	△84人
合計	817人	533人	284人

② ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】 3,496人

(登録ボランティア 1,636人／愛のふれあい活動 753人／自己加入者 1,107人)

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や各団体の民間助成金の交付申請手続きを支援しました。

【団体への活動助成金】 58団体 1,137,000円

【民間助成金団体】

▷ 北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金／8団体（江別車いすボランテ

ィア整備、江別市水上安全赤十字奉仕団、江別更生保護女性会、江別子ども劇場「江別子ども演劇クラブ」、長生民謡会、札幌斉藤支部門人会大麻千鳥会、朗読ボランティアグループ
まちの灯、あおむし人形劇団)

③ ボランティア団体連絡会の運営

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し、市民にお知らせしました。

(2) ボランティアの育成・確保

① ボランティア活動者研修の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 養成研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ) 活動実績(再掲)

7個人に対し、延べ89人(前年度比33人増)が活動しました。

基本計画 3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりや絆を深め、安心して暮らせる地域づくりの活動支援の充実に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施

様々な機会を利用して、自治会に「地域交流の集い活動事例集」や「社協紹介パンフレット」などを活用し、当事業への取り組みを働きかけました。

① 愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数（自治会）			対象世帯数（世帯）			ボランティア延人数（人）		
	3年度	2年度	増減	3年度	2年度	増減	3年度	2年度	増減
江 別	12	15	△3	330	410	△80	449	594	△145
野 幌	28	29	△1	592	628	△36	1,523	1,188	335
大 麻	25	28	△3	655	652	3	1,035	1,094	△59
計	65	72	△7	1,577	1,690	△113	3,007	2,876	131

② 地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。

また、コロナ禍でも柔軟な対応ができるよう、交流会の開催を検討しても新型コロナウイルスの影響によって開催が難しいため対象者宅を訪問する活動に切り替えたという場合にも、助成金を充当するという新たな取り扱い（特例）を設けました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数（自治会）			実施事業数（回）		
	3年度	2年度	増 減	3年度	2年度	増 減
江 別	15	9	6	30	27	3
野 幌	19	17	2	47	36	11
大 麻	16	13	3	46	30	16
計	50	39	11	123	93	30

※全123事業のうち45事業を特例で助成

【特例取り組み事例】

- ・敬老祝い・誕生日祝いの記念品を持って対象者宅を訪問し、玄関先で会話し交流した。
- ・ガーデニング講習会が開催できなかったため、自宅で取り組めるハーバリウムキットを配布した。
- ・季節行事の代わりに季節のお菓子を持って対象者宅を訪問、体調や生活状況の確認を行った。

(2) 江別市共同募金委員会との協働

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

① 赤い羽根共同募金運動への協力

令和3年10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】 6,616,646 円(前年度比 586,551 円減)

★当協議会への共同募金助成状況

区 分	事 業 名	助成額 (円)		
		3年度	2年度	増 減
市町村地域助成	愛のふれあい交流事業	200,000	200,000	0
	ボランティア団体育成	200,000	200,000	0
	広報誌「幸せな社会」発行	760,351	754,823	5,528
道地域助成	ワークキャンプ	110,000	110,000	0
	行商用テントの幕購入	0	217,780	△217,780
合 計		1,270,351	1,482,603	△212,252

② 歳末たすけあい運動への協力

令和3年12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

また、令和3年12月、寄せられた募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。

【募金実績】 4,732,112 円(前年度比 23,401 円増)

【歳末たすけあい募金助成】

★見舞金の贈呈状況

区 分	3年度		2年度		増 減	
	世帯数 (世帯)	見舞金額 (円)	世帯数 (世帯)	見舞金額 (円)	世帯数 (世帯)	見舞金額 (円)
生活支援 世帯	521	1,869,000	539	1,940,000	△18	△71,000

★福祉事業への助成状況

助成先	3年度		2年度		増 減	
	団体数	助成金額 (円)	団体数 (団体)	助成金額 (円)	団体数 (団体)	助成金額 (円)
障がい児・ 者団体及び その家族会	4	229,000	1	49,000	3	180,000
地域福祉推 進団体	1	20,000	2	65,000	△1	△45,000
計	5	249,000	3	114,000	2	135,000

★当協議会への歳末たすけあい募金助成状況

事 業 名	助成額 (円)		
	3年度	2年度	増 減
ハーフデイボランティアスクール	0	0	0
除雪派遣サービス	866,357	691,427	174,930
計	866,357	691,427	174,930

(3) 江別ふれあい福祉の広場の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 企業・団体の地域貢献活動への支援

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

▷ 活動備品の貸出

- ・テント 1施設 3団体
- ・机 1施設 2団体
- ・椅子 1施設 1団体

▷ 社会貢献活動への協力

- ・江別消費者協会(緊急支援用食料寄贈)
- ・株式会社ダイナム(緊急支援用食料寄贈)
- ・江別ロータリークラブ(介護用電動ベッド寄贈)
- ・角山開発株式会社(緊急支援用食料寄贈)
- ・北海道コカ・コーラボトリング株式会社(福祉施設への清涼飲料水寄贈)
- ・後藤建設株式会社カーブス事業部(緊急支援用食料寄贈)
- ・北海道電力ネットワーク株式会社(高齢者宅の配線無料診断サービス)
- ・株式会社ツルハホールディング、株式会社クラシエホールディング(車椅子寄贈)

基本計画 4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉施設などと協働し、青少年はじめ市民に体験の場や研修の機会を提供し、福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 福祉施設での体験学習

① ワークキャンプ(福祉施設介護体験学習)の開催

新型コロナウイルス感染対策のため、夏のワークキャンプは高校生を対象としたオンライン講座「おうちで学ぶ認知症 認知症の理解と関わり(基本の“き”)」を計画しましたが、参加希望者がおらず未開催となりました。冬のワークキャンプについては、感染対策を行い、福祉施設での体験学習を実施しました。(2施設開催予定の内、1施設は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

【開催内容】

開催期間	参加者数	場 所
令和3年 8月 10日(火) 11日(水) (同じプログラムで2日間の開催)	0人	オンライン(未開催)
令和4年 1月 11日(火) 12日(水)	4人 中止	特別養護老人ホーム 静苑ホーム 盲人養護老人ホーム 恵明園
計	4人	(前年度比参加者数△5人)

② ハーフデイボランティアスクールの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力

総合的な学習の時間に伴う体験用具の貸し出しやボランティア派遣を通して協力しました。

- ▷ 体験用具の貸出
 - ・疑似体験セット 小学校7校
 - ・車椅子 小学校5校
- ▷ ボランティア派遣 小学校1校

(4) いきいきシニアスクールの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

基本計画 5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、各種の福祉サービスの提供に努めました。

(1) 雪処理への支援

① 福祉除雪サービスの実施(市受託事業)

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道(車道)除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 令和3年11月1日～令和4年3月31日

【利用料金】 1間口3m以内(追加料金は1間口15,000円)

種別	市からの助成金	利用者自己負担額	合計
市・道民税非課税世帯	26,030円	15,770円	基本料金 41,800円
同均等割課税世帯	20,170円	21,630円	
同均等割・所得割課税世帯	14,290円	27,510円	

【実施状況】

地区	3年度(世帯)		2年度(世帯)		増減 (A-B)
	利用世帯数 (A)	(Aの内、新規)	利用世帯数 (B)	(Bの内、新規)	
江別	294	41	290	44	4
野幌	382	69	353	70	29
大麻	208	32	204	33	4
計	884	142	847	147	37

② 除雪派遣サービスの実施

高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に作業協力員により玄関先から公道までの除雪を実施しました。

作業協力員確保のため、江別市シルバー人材センターのほか、札幌勤労者企業組合、障がい者就労移行支援事業所との契約に加えて、独自に作業協力員の確保も行い、利用対象全世帯にサービスを提供しました。

【実施状況】

地区	利用世帯数(世帯)		
	3年度	2年度	増減
江別	44	49	△5
野幌	34	38	△4
大麻	54	53	1
計	132	140	△8

③ 「えべつ雪の処理情報誌」の作成

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業者別に記載した情報誌を発行するとともに、公共施設などに配置したほか、自治会の協力を得て回覧するなど、きめの細かい情報提供を行いました。また、雪処理を行う事業者一覧を社協だより「幸せな社会」に掲載しました。 【掲載事業者数】 28事業者掲載(前年度比増減なし)

(2) 高齢者・障がい者給食サービスの実施(市受託事業)

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配達時に安否確認を行い、利用者の緊急時の対応を行いました。

【配食実績】

地区	利用数	高齢者世帯 (ひとり世帯)			高齢者世帯 (夫婦等世帯)			障がい者世帯 (ひとり世帯)			高齢者+障がい者 世帯			合 計		
		3年度	2年度	増減	3年度	2年度	増減	3年度	2年度	増減	3年度	2年度	増減	3年度	2年度	増減
江別	世帯数	57	53	4	9	5	4	1	2	△1	0	2	△2	67	62	5
	食数	57	53	4	18	10	8	1	2	△1	0	4	△4	76	69	7
野幌	世帯数	45	56	△11	14	14	0	1	3	△2	3	3	0	63	76	△13
	食数	45	56	△11	28	28	0	1	3	△2	6	7	△1	80	94	△14
大麻	世帯数	39	50	△11	3	6	△3	5	6	△1	0	0	0	47	62	△15
	食数	39	50	△11	6	12	△6	5	6	△1	0	0	0	50	68	△18
合計	世帯数	141	159	△18	26	25	1	7	11	△4	3	5	△2	177	200	△23
	食数	141	159	△18	52	50	2	7	11	△4	6	11	△5	206	231	△25

【年間配食実績】 59,472食(前年度比3, 169食減)

(3) 障がい児者移動支援事業の実施

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】 ガイドヘルパー数 11人 ガイドヘルプ利用者数 13人

【利用実績】

利用内容	件 数 (件)		
	3年度	2年度	増 減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	151	173	△22
医療機関への相談又は受診	121	100	21
一般市民向けの各種行事への参加	5	0	5
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	70	44	26
その他の外出	210	201	9
計	557	518	39

(4) 福祉機器の貸与

① 福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福祉機器	保有台数（台）	貸与件数(延貸与月数)（件）		
		3年度	2年度	増 減
車椅子	126	954	959	△5
介護用手動ベッド	8	84	95	△11
介護用電動ベッド	51	490	504	△14
歩行器	29	181	169	12
計	214	1,709	1,727	△18

② 福祉ベルの設置

江別市緊急通報システム設置待機者を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しました。

【設置状況】

区 分	江別地区（件）	野幌地区（件）	大麻地区（件）	合 計（件）
2年度までの設置数	4	5	3	12
3年度設置数	1	0	1	2
3年度返却数	0	0	1	1
計	5	5	3	13

(5) 北光保育園・野幌季節保育所の運営

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園及び野幌季節保育所を運営しました。

【保育児童数】

区分 保育所名	3年度年齢別保育児童数（人）					2年度 （人）	増 減 （人）
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計		
北光保育園	7	7	5	5	24	24	0
野幌季節保育所	3	2	0	3	8	8	0
計	10	9	5	8	32	32	0

基本計画 6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

地域福祉推進の中核的な役割を發揮できる組織づくり、市民から信頼される運営体制の確立に努めました。

(1) 組織体制の整備

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

① 行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ▶ くらサポ相談支援員が毎週事業の進め方や相談内容などについて支援調整会議を開催し協議。
- ▶ 江別市成年後見支援センターの運営、受任調整会議の開催内容、具体的な後見受任ケース及び中核機関の設置などについて協議。
- ▶ 生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周知方法について協議。
- ▶ 今後の保育所運営の在り方、保育士の処遇や確保について協議。
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総合社会福祉センター利用者に対し、感染症対策ポスター掲示の協力。

② 部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

【部会・委員会開催状況】

会議名	開催回数	開催年月日
総務部会	1回	令和3年 9月28日
地域部会	1回	令和3年 9月28日
合同(総務・地域福祉)部会	1回	令和3年 9月28日
広報編集委員会	4回	令和3年 6月10日 令和3年 9月 9日 令和3年12月 9日 令和4年 3月10日
福祉金庫管理委員会	1回	令和3年 6月18日
江別市成年後見支援センター受任調整会議	8回	令和3年 5月12日 令和3年 6月15日(書面審議) 令和3年 7月27日(書面審議) 令和3年 9月14日(書面審議) 令和3年10月15日(書面審議) 令和3年11月10日 令和4年 1月17日 令和4年 2月15日(書面審議)

③ 役職員などの研修・資質向上

ア) 研修会への参加

役員が、社会福祉の現状や今後の動向などについて理解を深めるため参加しました。

【参加研修会】

研修会	開催日	場 所	人数
令和3年度法人役員研修	令和4年 3月 2日 ～31日	オンデマンド	1人

イ) 職員の資質向上

道社協主催研修会などに職員を派遣またはオンライン参加し、資質向上に努めました。

【主な派遣研修会】

研修会	開催日	場 所	人数
第1回生活困窮者支援機関×厚労省 リアルタイム意見交換会	令和3年 6月 4日	オンライン	1人
共同募金実務担当者新任研修会	令和3年 6月25日	オンライン	2人
全道新任社協職員研修会	令和3年 6月29日 ～ 30日	オンライン	1人
甲種防火管理者新規講習	令和3年 7月 7日 ～ 8日	札幌市	1人
第2回生活困窮者支援機関×厚労省 リアルタイム意見交換会	令和3年 7月25日	オンライン	1人
～生活困窮者支援の孤立を防ぐ～続・後方支援プロジェクト	令和3年 7月27日	オンライン	1人
令和3年度石狩管内社協職員連絡協議会総会	令和3年 7月29日	オンライン	4人
第2回特例貸付に関する道内社協職員オンライン情報交換会	令和3年 7月30日	オンライン	1人
令和3年度町内会活動実践者研修会	令和3年 8月 5日	オンライン	1人
リスタート・ケータイオンラインセミナー	令和3年 8月11日	オンライン	1人
市町村共同募金委員会関係者研究協議会	令和3年 8月17日	オンライン	1人
サテライト事業3市合同会議	令和3年 8月30日	オンライン	3人
令和3年度主任相談支援員養成研修	令和3年 9月13日	オンライン	1人
全道市町村社協事務局長連絡会議課題別グループ協議	令和3年 9月22日	オンライン	1人
第3回特例貸付に関する道内社協職員オンライン情報交換会	令和3年 9月22日	オンライン	1人
全道市町村社協事務局長連絡会議 本会議	令和3年 9月27日	オンライン	1人
住民互助による高齢者の移動・外出支援について	令和3年 9月27日	オンライン	2人
石狩地区市町村社協会長事務局長会議	令和3年 9月30日	オンライン	1人
母子家庭等就業・自立支援センター石狩地区関係職員合同会議	令和3年10月 8日	恵庭市	1人
第1回生活支援コーディネーターカフェ	令和3年10月12日	オンライン	1人
北海道生活困窮者情報交換シンポジウム	令和3年10月15日	オンライン	1人
小地域福祉活動サミット in 北海道	令和3年10月22日 ～ 23日	江別市	4人
令和3年度コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修	令和3年10月25日 ～ 26日	オンライン	1人
令和3年度公的職業訓練(ハورتレーニング)施設見学会	令和3年10月28日	札幌市	1人
続・後方支援プロジェクト シェルター広域連携推進事業説明会	令和3年10月29日	オンライン	1人

石狩管内社協職員連絡協議会・石狩地区地域に理解され支持される社協づくり研修／地域福祉・生活支援体制整備事業担当職員	令和3年11月 4日	オンライン	3人
石狩管内社協職員連絡協議会・石狩地区地域に理解され支持される社協づくり研修／ボランティア担当職員	令和3年11月11日	オンライン	1人
第8回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 全体会	令和3年11月13日	オンライン	1人
令和3年度家事関係機関との連絡協議会	令和3年11月17日	オンライン	1人
石狩管内社協職員連絡協議会・石狩地区地域に理解され支持される社協づくり研修／総務・経理担当職員	令和3年11月18日	オンライン	1人
安全運転管理者講習	令和3年11月19日	江別市	1人
第8回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 分科会3. 4	令和3年11月20日	オンライン	1人
被災地に寄り添う災害ボランティアセンター運営研修会	令和3年11月22日	オンライン	1人
第8回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 分科会7. 8	令和3年11月23日	オンライン	1人
石狩管内社協職員連絡協議会・石狩地区地域に理解され支持される社協づくり研修／生活福祉資金担当職員	令和3年11月25日	オンライン	2人
令和3年度自立相談支援事業従事者養成研修相談支援員養成研修	令和3年11月26日	オンライン	1人
第8回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 分科会9 全体会2	令和3年11月27日	オンライン	1人
令和3年度日常生活自立支援事業指導監督者・専門員研修	令和3年11月29日	オンライン	3人
令和3年度石狩管内生活支援コーディネーター情報交換会	令和3年11月29日	オンライン	1人
就職困難者支援団体と企業の懇談会	令和3年12月 7日	オンライン	1人
第3回特例貸付に関する道内社協職員オンライン情報交換会	令和3年12月 9日	オンライン	1人
第2回生活支援コーディネーターカフェ	令和3年12月16日	オンライン	1人
第4回北海道生活困窮者情報交換会	令和3年12月17日	オンライン	2人
第1回北海道生活困窮者支援ネットワーク会議	令和4年 1月17日	オンライン	1人
北海道地域福祉学会 2021 年度全道研究大会	令和4年 1月22日	オンライン	1人
法テラス札幌地方協議会	令和4年 1月25日	オンライン	2人
生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修	令和4年 1月26日 ～ 27日	オンライン	2人
【石狩地区】地区別課題対応会議	令和4年 2月 9日	オンライン	1人
令和3年度生活支援コーディネーター連絡会議	令和4年 2月15日	オンライン	1人
続・後方支援プロジェクト 最終報告シンポジウム	令和4年 2月18日	オンライン	1人
令和3年度市町村ボランティアリーダー学習会	令和4年 2月22日	オンライン	1人
令和3年度生活福祉資金貸付事業研修会	令和4年 2月28日	オンライン	1人
生活困窮者自立相談支援員向け居住支援に関する研修会	令和4年 3月	オンデマンド	1人
江別農福連携協議会	令和4年 3月 7日	江別市	1人
福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」	令和4年 3月 8日	オンライン	1人
第3回生活支援コーディネーターカフェ	令和4年 3月17日	オンライン	1人
全道福祉の学習推進セミナー	令和4年 3月23日	オンライン	1人
「多様な地域連携による就労支援：現状把握と活動評価のPDCA」事業シンポジウム	令和4年 3月28日	オンライン	1人

(2) 財源基盤の整備

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

① 会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

【会員会費状況】

区 分	件 数			備 考
	3年度	2年度	増 減	
第1種会員会費 (世帯会費)	36,706 世帯	36,222 世帯	484 世帯	1世帯 年額 300円
第2種会員会費 (施設会費)	40施設	42施設	△2施設	50人未満 5,000円 50人以上 7,000円 100人以上200人未満 10,000円
第3種会員会費 (団体会費)	93団体	89団体	4団体	1団体 3,000円 *ボランティアセンター登録団体 は人数による
第4種会員会費 (特別会費)	692 個人・事業所	696 個人・事業所	△4 個人・事業所	1口 1,000円以上

② 社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用しました。

【元金積立及び運用内訳】

積立・寄付状況	金 額	運用内訳(3年度末)
2年度までの元金積立額 ①	134,014,108円	政府保証債(年利率1.662%) 100,000,000円
2年度事業充当戻入額 ②	3,980,000円	金融機関預金
3年度寄付金受入額 ③	420,761円 ▷ 内訳 〔・篤志寄付 360,000円〕 〔・つもり寄付 60,761円〕 ▷ 寄付件数 41件	35,196,893円 【内訳(ペイオフ対策による管理)】 定期預金(年利率0.002%) 10,000,000円
3年度事業充当額 ④	△3,218,000円	定期預金(年利率0.002%) 10,000,000円
普通預金預金利息 ⑤	24円	定期預金(年利率0.002%) 10,000,000円
3年度末元金積立額 (①+②+③-④+⑤)	135,196,893円	普通預金(年利率0.001%) 5,196,893円

③ 共同募金からの助成金の確保(P9 参照)

④ 一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として活用し、特に、江別市高齢者クラブ連合会女性部からの寄付金10万円でノーパンクタイヤの車椅子3台を購入し、福祉教育用として活用しました。また、一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団から10万円が寄付され、在宅福祉サービス、ボランティア活動の推進に役立てました。

【寄付取扱実績】 件数 21件 寄付金額 725,715円

⑤ 各種事業コストの検討

令和4年度における北光保育園及び野幌季節保育所の保育料については、安定的な運営を行えるよう、保育料の改定に向けての検討を行いました。

また給食サービスにおいて、昨今の食材費・燃料費・人件費の上昇に鑑み、令和4年度においても継続的なサービス提供が行えるよう、委託料改定に向けて市と検討を行いました。

(3) 事務事業の改善

【主な改善事項】

- ・社協会費の税制優遇措置の取り扱いを開始。
- ・総合社会福祉センター貸室のオンライン予約及びオンライン先行予約を導入。
- ・会長専決規程の策定。
- ・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、評議員会の招集または書面による決議を実施。
- ・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、江別市の公共施設対応状況に基づき、総合社会福祉センターの開館と利用制限を実施。
- ・総合社会福祉センター入口に体温測定器、事務所デスク間にアクリル板を設置し、新型コロナウイルス感染対策を強化。
- ・貸出する介護用ベッドの搬入・搬出・設置について、手薄な職員体制を考慮し、業者委託に変更。
- ・成年後見制度における中核機関受託に向けた準備。
- ・評議員選任・解任委員会の委員構成人数を変更。【令和4年度施行】
- ・事務局体制の整備(権利擁護係新設)。【令和4年度施行】

(4) 総合社会福祉センターの管理運営

福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設、並びに高齢者が集う交流の場として運営しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応として、センター利用者へ国が示す「新しい生活様式」を踏まえた注意喚起の実施と、江別市の公共施設対応状況に基づき、開館または利用制限を実施しました。

そして、センターの利便性向上のためオンライン予約及びオンライン先行予約を導入し、試行実施しました。

また、地下タンク配管の漏洩が発生したこと及び新型コロナウイルス感染予防のため長期停止していた子ども発達支援センター内プール関連の不具合箇所(入口引戸取替・除菌殺菌消臭・幼児用便器水圧低下)について江別市と協議し、修繕工事を実施しました。

【月別利用状況】

月	利用者数(人)			月	利用者数(人)		
	3年度	2年度	増減		3年度	2年度	増減
4	3,109	1,589	1,520	10	3,106	3,342	△236
5	1,122	458	664	11	3,041	2,781	260
6	711	1,728	△1,017	12	2,843	1,930	913
7	3,671	2,697	974	1	1,845	1,711	134
8	2,392	2,265	127	2	3,251	1,990	1,261
9	225	3,147	△2,922	3	2,538	3,090	△552
計					27,854	26,728	1,126
累計(昭和57年度～令和3年度)					2,310,035人		

(5) 防災・災害対策の推進

- ▶ 令和3年11月11日(木)、災害対策会議を開催。災害ボランティアセンター運営マニュアルを改正し、災害救助費負担金の国庫負担の活用を追記しました。
- ▶ 令和3年11月22日(月)開催の道社協主催「被災地に寄り添う災害ボランティアセンター運営研修会」に職員がオンラインで参加し、「2018年7月西日本豪雨」、「2000年鳥取県西部地震」等における災害ボランティアセンターの運営方法を学びました。
- ▶ 令和3年12月8日(水)開催の道社協主催「石狩地区災害ボランティア組織連携会議」に職員が参加し、災害ボランティアセンターの活動事例の報告や災害時における支援団体の活動内容について研修しました。
- ▶ 令和4年2月4日(金)江別ライオンズクラブ及び江別グリーンライオンズクラブと「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定」を締結し、災害発生時、両クラブより「必要とされる活動資機材の提供」や「専門性を活かした物的・人的支援の提供」、「ボランティア活動者への飲料物の提供」等の支援をいただくことになりました。
- ▶ 令和3年9月30日(木)と令和4年3月31日(木)に、総合社会福祉センター職員による火災消防訓練を実施しました。

(6) 地域福祉実践計画の進行管理

合同(総務・地域福祉)部会において、計画の執行状況について管理し、円滑な推進を目指すため、6基本計画・41個別実践事業について、令和2年度事業の最終評価を実施しました。

生活困窮者自立支援事業、法人後見事業、生活福祉資金貸付事業などについては、実績増に対して円滑な対応・連絡調整に努め、支障なく安定したサービスを提供したことに高い評価を受けました。

一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人と接したり、ふれあう事業は打撃を受け、事業実績が対前年比で低下しました。また、参集型の研修会やイベントは軒並み中止となりました。結果、基本計画では、2計画で「評価4」、個別実践事業では、41事業全てが基準点の「評価3」以上で、その内、1事業が「評価5」、7事業が「評価4」となりました。

(計画全体では49事業だが、感染拡大防止のため中止とした事業もあるため評価対象は41事業)

【令和2年度基本計画評価結果】

分類	基本計画の主な内容と評価結果					
基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [生活困窮者自立支援事業など11事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [ボランティア活動の基盤整備など4事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [愛のふれあい活動など4事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [ワークキャンプの開催など2事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [給食サービス事業など7事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [社会福祉基金の積立・運用など13事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

① 三役会(会長・副会長・常務理事会議) 12回

開催日		
令和3年 4月12日(月)	令和3年 5月27日(木)	令和3年 6月22日(火)
令和3年 7月15日(木)	令和3年 8月 6日(金)	令和3年 9月16日(木)
令和3年10月18日(月)	令和3年11月11日(木)	令和3年12月 8日(水)
令和4年 1月17日(月)	令和4年 2月16日(水)	令和4年 3月 7日(月)

② 理事会 5回

開催日		
令和3年 6月11日(金)	令和3年10月 7日(木)	令和4年 3月14日(月)
令和3年 6月28日(月)	令和3年12月15日(水)	

③ 評議員会 3回 ※書面による同意(決議) 2回

開催日または書面による同意(決議)		
令和3年 6月28日(月)【書面】	令和3年12月27日(月)	令和4年 3月23日(水)【書面】

④ 監事監査 4回

開催日	
令和3年 5月24日(月)	令和3年 8月27日(金)
令和3年12月 7日(火)	令和4年 3月 8日(火)

⑤ 評議員選任・解任委員会 2回

開催日	
令和3年 6月24日(木)	令和4年 1月27日(木)

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を顕彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者】

- ▷ 団体推薦 表彰 30人 感謝 2人
- ▷ 寄付・寄贈 感謝 3団体・1人

(3) ボランティア研修事業などへの参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 障がい児者施設の作品展示・販売

障がい児者への理解を図ることを目的に、障がい児者施設の作品を総合社会福祉センターロビーに設置している「福祉の店」で展示・販売しました。

【販売数】 ぼかし、固形石鹸、ポーチなど 合計 112点

(5) 福祉団体・ボランティア団体写真展の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 社協だより「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 7社 広告料 115,000円